

平成30年3月20日

農業技術センター 技術普及部

標 題	「特A」生産を後押し！ 儲かる「つや姫」に向けた肥料統一
-----	------------------------------

(ダイジェスト)

3月14日(水)に行われた「JAしまね『つや姫』研究会」において、「つや姫」生産における統一肥料が決まりました。
 農薬に続き、肥料が統一されたことで、生産資材コストの低減と高品質で安定的な生産の実現、さらに、「特A」を獲得した「つや姫」生産への後押しが期待されます。

本県の水稲奨励品種「つや姫」については、JAしまね(以下、「JA」という。)により生産資材コストの低減や高品質で安定的な生産の実現を目指して、農薬と肥料の統一に向けた実証試験が行われています。その結果については、生産者代表、JA及び県で構成される「JAしまね『つや姫』研究会」において協議が重ねられてきました。

これまでの協議で、農薬は既に統一されていますが、今回の研究会では、2銘柄による肥料試験の実績検討が行われ、収量性や品質面等について確認された結果、平成31年産からの統一肥料が決まりました。

この肥料は、JA資材課と当センターの試験研究部門が協議する中で試作された、平坦部向けの「つや姫」専用基肥一発型肥料です。平成28年から、JAが行う試験と並行して、当センター内のほ場や農業普及部と技術普及部が連携して設置する現地実証ほにおいて、その効果を検証してきました。この結果から得られた肥料の特徴は、以下のとおりです。

- ・速効性窒素を含まないため、初期の過剰分げつが抑制され、有効茎歩合が向上
- ・緩効性窒素の配合割合が多いため、登熟期間の窒素利用効率が高まり、葉色の低下が軽減され、登熟歩合が向上
- ・そのため、地力窒素が高く初期生育が過剰になりやすいほ場、登熟期間に葉色が低下しやすいほ場で効果を発揮

表 「つや姫」専用肥料が生育、収量及び品質に及ぼす影響

肥料の種類	最高 茎数 (本/m ²)	穂数 (本/m ²)	有効茎 歩 合 (%)	葉色 (SPAD)		登熟 歩合 (%)	収量 (kg/10a)	1.9mm 歩留率 (%)	検査 等級
				出穂期	成熟期				
専用肥料	355	320	90.1	38.8	29.6	87.1	508	97.0	1中
比)肥料A	383	333	86.9	37.3	21.6	85.6	497	96.5	1下

※)平成29年、松江市に設置した実証ほの結果

登熟歩合、収量及び検査等級は、1.9mm選別ふるい目サンプルの数値

「つや姫」については、平成29年産米が、先般発表された「米の食味ランキング(日本穀物検定協会)」において3度目の「特A(最高位)」を獲得し、実需者からの更なる評価向上が予想され、生産拡大が急務となっています。

この度の肥料統一により、儲かる「つや姫」生産が一層進むことで、更なる拡大が期待されます。